

CMS とは

概要:

コンテンツマネジメントシステム(Content Management System,CMS)は、Web コンテンツを構成するテキストや画像などのデジタルコンテンツを統合・体系的に管理し、配信など必要な処理を行うシステムの総称。2005 年頃より一般的に普及したといわれる。コンテンツ管理システムとも呼ばれる。

ウェブサイト、ポータルサイトの構築、管理によく使用される。

ウェブページを作成し、運用するには、HTML ファイルや、それを保存するディレクトリ構造などについての知識が必要だった。コンテンツマネジメントシステムでは、技術的な知識がなくても、テキストや、画像等の「コンテンツ」を用意できれば、ウェブによる情報発信をおこなえるように工夫されている。また、テンプレートの選択により全体のデザインを容易に変更することができるなど、省力化にも役立つ。多くのインターネットサービスプロバイダでは顧客サービスの一部に、CMS を活用した「簡単ホームページ作成」といったメニューが用意されており、自社で独自の CMS を開発している Web 制作会社も少なくない。プログツールなど CMS の一般化にともない、インターネット上の Web ページが爆発的に増加したといっても過言ではない。

コンテンツマネジメントシステムは、汎用的なものから特定の目的に特化したものまで様々であり、規模もまちまちである。企業・自治体向けのような大規模なコンテンツマネジメントシステムでは、ページごとの公開期間の厳密な時間管理や、公開を承認するワークフロー、サイト内リンク切れの防止、デザインの統一、バージョン管理など様々な機能があり、品質を維持しつつ多人数での共同作業を効率よく行うことを可能にしている。個人向けコンテンツマネジメントシステムとしては、各種 Weblog ツールが挙げられる。プログツールでは、ページの自動生成や公開日指定、RSS 配信、トラックバックなどの機能が用意されている。Wikipediaなどで使用されるウィキや、SNS、Commerce もコンテンツマネジメントシステムの一つである。ほぼ共通して以下のような特徴がある。

- * 権限の異なる複数の管理者、あるいは投稿者がウェブブラウザからサイトへコンテンツをアップロードできる。
- * 任意のキーワードでサイト内のコンテンツを検索できる。
- * モジュールまたはプラグインを追加してシステムを拡張できる CMS も多い。
- * 多くの CMS が、オープンソースとして GPL(*1)を適用して提供されるようになった。
- * デザインカスタマイズのために、CMS を使う Web デザイナーには、CSS の知識が必須となってきた。

最近では携帯向けコンテンツ管理システム(CMS)も多く出てきており、Web システム開発のローコスト化、省力化の要請とともに注目を浴び、ますます市場拡大をしている。日本語処理についてリスク(制限)が少ない純国産の CMS も増加傾向にあり、選択の幅が広がりつつあるが、これらの中にはライセンス料の支払いが必要なものが少なからずある。

なお、ほとんどの CMS が MySQL や PostgreSQL、Oracle などのデータベース管理システムを使ってコンテンツの管理を行っており、さらに mod_rewrite(*2)などによって動的コンテンツの見かけ上の URL をスリム化する手法も広がりつつあるので、OS や CGI などの周辺環境も含め、導入可能な環境については個々に確認しなければならない。

CMS のシステムによっては任意のサーバ(専用サーバ、共用レンタルサーバ)環境へインストール・運用を行うもののほか、ASP、SaaS 方式で提供しているものもある。

*1 GPL (General Public License)

GNU プロジェクトが提唱するフリーソフトウェアのライセンス。ソフトウェアとそれを使用するユーザーに、使用、複製、変更、再頒布などの自由を与えることを最大の目的とし、徹底しているのが特徴。

*2 mod_rewrite

Apache のモジュールのひとつで、アクセス URL を正規表現で書き換えることができます。いわゆる、リダイレクトという処理を行うのに便利なモジュールです。

http://tech.bayashi.net/svr/doc/apache/mod_rewrite.html

軽量 CMS :

「軽量 CMS」というジャンルが確立しているわけではないが、コンテンツマネジメントシステムの種類が増えてくるにつれて、個人あるいは小規模企業を対象とした製品の中で、「軽量 CMS」あるいは「Lite CMS」という用語が用いられるようになってきている。

- * マルチプラットフォームに対応し、動作環境に対する制約が少ない。ホスティングサーバにも容易に設置できる。
- * インストールに要するディスクスペースが少なくすみ、ディレクトリ構造もシンプルである。
- * MySQL などデータベースサーバーを必要とせず、せいぜい SQLite あるいは XML でデータが管理できる。
- * データベースサーバーを使う場合でもテーブル数が少なく、管理しやすい。
- * 処理できるデータの量より、**手軽さに重点をおく**。
- * アクセスに対するレスポンスが速い。

以上の要件を全て兼ね備えるのは困難であり、そのような製品はなかなか見当たらないが、既存の CMS がバージョンアップとともに肥大化、複雑化していくことに対する一方で、「**手軽さ**」への潜在的なニーズがあることを示すといえる。